

図書室より「新着図書」のお知らせ

〈一般書〉

「板上に咲く」 原田マハ

「ワあ、ゴッホになるッ！」

1924年、画家への憧れを胸に裸一貫で青森から上京した棟方志功。しかし、絵を教えてくれる師もおらず、画材を買うお金もなく、弱視のせいでモデルの身体の線を捉えられない棟方は、展覧会に出品するも落選し続ける日々。そんな彼が辿り着いたのが木版画だった。彼の「板画」は革命の引き金となり、世界を変えていく――。墨を磨り支え続けた妻千ヤの目線から、日本が誇るアーティスト棟方志功を描く。感涙のアート小説。

「風に立つ」 柚木裕子

問題を起こし家裁に送られてきた少年を一定期間預かる制度――補導委託の引受を突然申し出た父・孝雄。南部鉄器の職人としては一目置いているが、仕事一筋で決して良い親とは言えなかった父の思いもよらない行動に戸惑う悟。納得いかぬまま迎え入れることになった少年と工房で共に働き、同じ屋根の下で暮らすうちに、悟の心にも少しずつ変化が訪れて……。家族だからこそ、届かない想いと語られない過去がある。岩手・盛岡を舞台に、揺れ動く心の機微を掬いとる、著者会心の新たな代表作！

「本心」 平野啓一郎

愛する人の本当の心を、あなたは知っていますか？

「母を作ってほしいんです」――AIで、急逝した最愛の母を蘇らせた朔也。

孤独で純粋な青年は、幸福の最中で〈自由死〉を願った母の「本心」を探ろうと、AIの〈母〉との対話を重ね、やがて思いかけない事実と直面する。格差が拡大し、メタバースが日常化した2040年代の日本を舞台に、愛と幸福、命の意味を問いかける。



〈児童書・絵本〉

10歳までに読みたい世界名作①9

「フランダースの犬」 ウィーダ

おさないころに両親をなくし、おじいさんに育てられたネロ。いつか画家になることを夢見ながら、なかよしの犬、パトラッシュと、まじしいけれど幸せな生活を送っていました。そんなある日、事件がおきますー。ネロとパトラッシュは、どうなってしまうのでしょうか。

「パンどろぼう VS にせパンどろぼう」 柴田ケイコ

パンどろぼう、それは せかいじゅうの おいしいパンを さがしもとめる おおどろぼう。パンやの おじさんに さとされて、りっぱな パンしょくにんになりました。ところが、せかいいちおいしい もいのパンやに、   またしても じけんの よかんが……？